

対象校No.

注4

学校コード F134310109900

注3

設置年度

令和

7年度

届出

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

注2

安田女子大学

教育学部

幼児教育学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正後大学設置基準適用)

学校法人安田学園

令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 大学事務部庶務課

職名・氏名 カヂョウ モトイシ チカ
課長・本石 智加

電話番号 082-878-8112

(夜間) 082-878-8112

e-mail syomu_box@yasuda-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

教育学部

＜幼児教育学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教育研究実施組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	38
7. その他全般的事項	39

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人安田学園

(2) 大 学 名

安田女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒731-0153

広島県広島市安佐南区安東6丁目13番1号

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ヤスダ カオル) 安 田 馨 (令和5年11月8日)		
学 長	(ハコダ マサユキ) 箱 田 雅 之 (令和7年4月1日)		
学 部 長	(ヨシダ ヒロヒサ) 吉 田 裕 久 (平成28年4月1日)		
学科長等	(フカザワ ヒロアキ) 深 澤 広 明 (令和7年4月1日)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称（学位）	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
教育学部 幼児教育学科 学士（教育学）	教育学・保育 学関係	4 年	130 人	2年次 0 人 3年次 2 人 4年次 0 人	524 人	—	教育学部 児童教育学科

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	130人 130 (—) [—]	—	—	0.97倍	—	—
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	236 (—) [—]	—				
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	235 (—) [—]	—				
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	191 (—) [—]	—				
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	127 (—) [—]	—				
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.97	—				

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
 - ・（ ）内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、（ ）書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。
- なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで**記入してください。
- ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。）
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで**記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
- ・「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	127 [0] 0	0 [0] 0	
2 年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	0 [0] 0	0 [0] 0	
3 年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	0 [0] 0	0 [0] 0
4 年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	0 [0] 0	0 [0] 0	
計			－ [－] (－)	－ [－] (－)			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (0)	127 [0] (0)		

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	人	人	令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
令和7年度	127 人	0 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
			令和7年度	人	人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下 (○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数 (a)}}{\text{令和2年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数 (a)}}{\text{令和3年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数 (a)}}{\text{令和4年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数 (a)}}{\text{令和5年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数 (a)}}{\text{令和6年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数 (a)}}{\text{令和7年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{0}{127} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<教育学部 幼児教育学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要 授業 科目	単位数			基幹教員等の配置						基幹 （助手 を除く） 教員
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
特別 科目	まほろば教養ゼミⅠ	1通	○	1			6	6	2				
	まほろば教養ゼミⅡ	2通	○	1			6	6	2				
	まほろば教養ゼミⅢ	3通	○	1			6	6	2				
	まほろば教養ゼミⅣ	4通	○	1			6	6	2				
	小計(4科目)	—	—	4	0	0	6	6	2	0	0	0	
共通 教育 科目	キャリア 科目	キャリアデザインⅠ	1前		2							1	
		キャリアデザインⅡ	2後		2							1	
		ボランティア活動	1・2後		2		1					1	
		インターンシップ	3前		2							1	
		職と食ーパティシエ実習	1・2・3・4後		1							1	
		小計(5科目)	—	—	0	9	0	1	0	0	0	3	
	教養 科目	人間 理解	人間論A	1・2・3・4 前・後		2							1
			人間論B	1・2・3・4 前・後		2							1
			こころの科学A	1・2・3・4 前・後		2							3
			こころの科学B	1・2・3・4 前・後		2							1
			からだの科学A	1・2・3・4 前・後		2		1					2
			からだの科学B	1・2・3・4 前・後		2							1
			からだの科学C	1・2・3・4 前・後		2							1
			人間形成の科学A	1・2・3・4 前・後		2			1				1
			人間形成の科学B	1・2・3・4 前・後		2							2
			ことばの世界A	1・2・3・4 前・後		2							1
			ことばの世界B	1・2・3・4 前・後		2							2
			日本の文学A	1・2・3・4 前・後		2							1
			日本の文学B	1・2・3・4 前・後		2							1
			世界の文学A	1・2・3・4 前・後		2							1
			世界の文学B	1・2・3・4 前・後		2							1
			芸術A	1・2・3・4 前・後		2			1				2
			芸術B	1・2・3・4 前・後		2							1
		社会 理解	現代社会と人間A	1・2・3・4 前・後		2							3
			現代社会と人間B	1・2・3・4 前・後		2			1				2
			21世紀の社会と法A(日本国憲法)	1・2・3・4 前・後		2							1
			21世紀の社会と法B	1・2・3・4 前・後		2							1
			21世紀の経済A	1・2・3・4 前・後		2							1
			21世紀の経済B	1・2・3・4 前・後		2							1
		社会 理解	現代のビジネスA	1・2・3・4 前・後		2							1
			現代のビジネスB	1・2・3・4 前・後		2							1
			現代社会と政治A	1・2・3・4 前・後		2							1
			現代社会と政治B	1・2・3・4 前・後		2							1
	国際 理解	異文化理解A	1・2・3・4 前・後		2							1	
		異文化理解B	1・2・3・4 前・後		2							1	
		日本の歴史と文化A	1・2・3・4 前・後		2							1	
		日本の歴史と文化B	1・2・3・4 前・後		2							1	
		世界の歴史と文化A	1・2・3・4 前・後		2							2	
		世界の歴史と文化B	1・2・3・4 前・後		2							1	
		国際協力A	1・2・3・4 前・後		2							1	
		国際協力B	1・2・3・4 前・後		2							1	
		科学 技術 理解	数学の世界	1・2・3・4 前・後		2							1
	自然科学の世界A		1・2・3・4 前・後		2							1	
	自然科学の世界B		1・2・3・4 前・後		2							1	
	自然科学の世界C		1・2・3・4 前・後		2							2	
	生命の科学A		1・2・3・4 前・後		2							3	
	生命の科学B		1・2・3・4 前・後		2							2	
	生命の科学C		1・2・3・4 前・後		2							1	
	環境の科学A		1・2・3・4 前・後		2							1	
	環境の科学B		1・2・3・4 前・後		2							1	

【令和7年度】

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要 授業 科目	単位数			基幹教員等の配置						基幹 教員 等 の 配 置 (助 手 を 除 く)		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
特別 科目	まほろば教養ゼミⅠ	1通	○	1			6	6	2						
	まほろば教養ゼミⅡ	2通	○	1			6	6	2						
	まほろば教養ゼミⅢ	3通	○	1			6	6	2						
	まほろば教養ゼミⅣ	4通	○	1			6	6	2						
	小計(4科目)	—	—	4	0	0	6	6	2	0	0	0			
共通 教育 科目	キャリア 科目	キャリアデザインⅠ	1前		2							1			
		キャリアデザインⅡ	2後		2							1			
		ボランティア活動	1・2後		2		1					1			
		インターンシップ	3前		2							1			
		職と食ーパティシエ実習	1・2・3・4後		1							1			
		小計(5科目)	—	—	0	9	0	1	0	0	0	3			
	教養 科目	人間 理解	人間論A	1・2・3・4 前・後		2							1		
			人間論B	1・2・3・4 前・後		2							1		
			こころの科学A	1・2・3・4 前・後		2							3		
			こころの科学B	1・2・3・4 前・後		2							1		
			からだの科学A	1・2・3・4 前・後		2		1					2		
			からだの科学B(未開講)	1・2・3・4 前・後		2									
			からだの科学C	1・2・3・4 前・後		2							1		
			人間形成の科学A	1・2・3・4 前・後		2			1				1		
			人間形成の科学B	1・2・3・4 前・後		2							2		
			ことばの世界A	1・2・3・4 前・後		2							1		
			ことばの世界B	1・2・3・4 前・後		2							2		
			日本の文学A	1・2・3・4 前・後		2							1		
			日本の文学B	1・2・3・4 前・後		2							1		
			世界の文学A	1・2・3・4 前・後		2							1		
			世界の文学B	1・2・3・4 前・後		2							1		
			芸術A	1・2・3・4 前・後		2			1				2		
			芸術B	1・2・3・4 前・後		2							1		
			社会 理解	現代社会と人間	現代社会と人間A	1・2・3・4 前・後		2							3
					現代社会と人間B	1・2・3・4 前・後		2			1				2
					21世紀の社会と法A(日本国憲法)	1・2・3・4 前・後		2							1
					21世紀の社会と法B	1・2・3・4 前・後		2							1
					21世紀の経済A	1・2・3・4 前・後		2							1
					21世紀の経済B	1・2・3・4 前・後		2							1
			社会 理解	現代のビジネス	現代のビジネスA	1・2・3・4 前・後		2							1
	現代のビジネスB	1・2・3・4 前・後				2							1		
	現代社会と政治A	1・2・3・4 前・後				2							1		
	現代社会と政治B	1・2・3・4 前・後				2							1		
	国際 理解	異文化理解	異文化理解A	1・2・3・4 前・後		2							1		
			異文化理解B	1・2・3・4 前・後		2							1		
			日本の歴史と文化A	1・2・3・4 前・後		2							1		
			日本の歴史と文化B	1・2・3・4 前・後		2							1		
			世界の歴史と文化A	1・2・3・4 前・後		2							2		
			世界の歴史と文化B	1・2・3・4 前・後		2							1		
			国際協力A(未開講)	1・2・3・4 前・後		2									
			国際協力B	1・2・3・4 前・後		2							1		
	科学 技術 理解	自然科学の世界	数学の世界	1・2・3・4 前・後		2							1		
			自然科学の世界A	1・2・3・4 前・後		2							1		
			自然科学の世界B	1・2・3・4 前・後		2							1		
			自然科学の世界C	1・2・3・4 前・後		2							2		
			生命の科学A	1・2・3・4 前・後		2							3		
			生命の科学B	1・2・3・4 前・後		2							2		
			生命の科学C	1・2・3・4 前・後		2							1		
			環境の科学A	1・2・3・4 前・後		2							1		
		環境の科学B	1・2・3・4 前・後		2							1			

科目 区分	授業科目の名称	配当年度	主要 授業科目	単位数		基幹教員等の配置						基 幹 教 員 等 の 配 置 （ 助 手 を 除 く ）
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通 教育 科目	生活の科学A	1・2・3・4 前・後			2							1
	生活の科学B	1・2・3・4 前・後			2							1
教 養 科 目	情報の科学	1・2・3・4 前・後			2							1
	小計 (47科目)	—	—	0	94	0	1	3	0	0	0	51
基 礎 科 目	情報処理基礎Ⅰ	1前			1							3
	情報処理基礎Ⅱ	1前			1							3
情 報 処 理 科 目	情報処理基礎Ⅲ	1後			1							3
	情報処理基礎Ⅳ	1後			1							3
情 報 処 理 演 習	情報処理演習A	2前			1							1
	情報処理演習B	2後			1							1
情 報 処 理 演 習	情報処理演習C	3前			1							1
	情報処理演習D	3後			1							1
健 康 ス ポ ー ツ 科 目	健康スポーツA	1・2・3・4 前・後			1		1					1
	健康スポーツB	1・2・3・4前			1							1
健 康 ス ポ ー ツ 科 目	健康スポーツC	1・2・3・4後			1				1			1
	野外活動	1・2・3・4前			2			1				1
外 国 語 科 目	英語リーディングⅠ	1前			1							3
	英語リーディングⅡ	1後			1							3
外 国 語 科 目	英語ライティングⅠ	2前・後			1							1
	英語ライティングⅡ	2前・後			1							1
外 国 語 科 目	英語コミュニケーションⅠ	1前			1							4
	英語コミュニケーションⅡ	1後			1							4
外 国 語 科 目	英語コミュニケーションⅢ	2前・後			1							4
	英語コミュニケーションⅣ	2前・後			1							4
外 国 語 科 目	中国語コミュニケーションⅠ	1前			1							1
	中国語コミュニケーションⅡ	1後			1							1
外 国 語 科 目	中国語コミュニケーションⅢ	2前			1							1
	中国語コミュニケーションⅣ	2後			1							1
外 国 語 科 目	北米文化語学演習	1・2・3後			2							1
	中国文化語学演習	1・2・3・4前			2							1
基 礎 養 成 科 目	基礎国語演習	1前・後			1							1
	基礎社会演習	1前・後			1							1
基 礎 養 成 科 目	基礎数学演習	1前・後			1							1
	基礎理科演習	1後			1							1
基 礎 養 成 科 目	基礎生物演習	1前			1							1
	基礎化学演習	1前			1							1
基 礎 養 成 科 目	基礎物理演習	1前			1							1
	小計 (33科目)	—	—	0	36	0	1	1	1	0	0	22
専 門 教 育 科 目	教育論	1前	○	2								1
	教育原論	1前	○	2			1					
専 門 教 育 科 目	幼児教育学	1前	○	2			1					
	保育者論	1後	○	2			1					
専 門 教 育 科 目	幼児教育課程論	2前	○	2			1					
	教育課程論	2前	○	2								1
専 門 教 育 科 目	保育内容総論Ⅰ	2後	○	2			1					
	教育方法論	2後	○	2			1					1
専 門 教 育 科 目	教育制度論	3前	○	2								1
	特別支援教育論	3前	○	1								1
心 理 学	発達心理学Ⅰ	1前	○	2			1					
	発達心理学Ⅱ	1後	○	2		2	1					
心 理 学	教育心理学	2前	○	2				1				
	教育心理学演習	3後	○	2		1		1				
心 理 学	教育相談の理論と方法	3前	○	2								1
卒 業 研 究	卒業研究Ⅰ	3後	○	1			7	6	2			
	卒業研究Ⅱ	4前	○	1			7	6	2			
卒 業 研 究	卒業研究Ⅲ	4後	○	1			7	6	2			
	卒業論文	4前	○	2			1					
	小計 (19科目)	—	—	30	3	0	7	6	2	0	0	5
領 域 科 目	運動遊びの基礎	1前			1		1					
	音楽表現の基礎	1前			1			1	1			
領 域 科 目	造形表現の基礎	1前			1				1			
	身体表現の基礎	1前			1					1		
領 域 科 目	演奏表現と子どもの音楽Ⅰ	1前・後			1		1	1				
	演奏表現と子どもの音楽Ⅱ	1前・後			1		1	1				
領 域 科 目	子ども家庭福祉論	2前			2			1				
	社会福祉学	2前			2			1				
領 域 科 目	幼児理解の理論と方法	3後	○	1			1					1
幼 児 教 育 学 ・ 保 育 学	子育て支援	3後			1		1					
	社会的養護Ⅰ	2後			2			1				1
幼 児 教 育 学 ・ 保 育 学	子どもの保健	2前			2							1
	子どもの健康と安全	2後			1							1
幼 児 教 育 学 ・ 保 育 学	子どもの食と栄養Ⅰ	3前			1							1
	子どもの食と栄養Ⅱ	3後			1							1
幼 児 教 育 学 ・ 保 育 学	子ども家庭支援論	4前			2			1				
	保育内容総論Ⅱ	4前			1							
幼 児 教 育 学 ・ 保 育 学	保育内容 健康Ⅰ	2後	○	1			1					
	保育内容 健康Ⅱ	2後	○	1			1					
幼 児 教 育 学 ・ 保 育 学	保育内容 人間関係Ⅰ	3前	○	1			1					
	保育内容 人間関係Ⅱ	3前	○	1			1					
幼 児 教 育 学 ・ 保 育 学	保育内容 環境Ⅰ	3後	○	1			1					1
	保育内容 環境Ⅱ	3後	○	1			1					1
幼 児 教 育 学 ・ 保 育 学	保育内容 言葉Ⅰ	3前	○	1			1					
	保育内容 言葉Ⅱ	3前	○	1			1					
幼 児 教 育 学 ・ 保 育 学	保育内容 表現Ⅰ	2後	○	1				1	2			
	保育内容 表現Ⅱ	2後	○	1				1				
幼 児 教 育 学 ・ 保 育 学	子どもと健康	1後	○	1			1					
	子どもと人間関係	1後	○	1			1					
幼 児 教 育 学 ・ 保 育 学	子どもと環境	3前	○	1			1					1
	子どもと言葉	1後	○	1			1					
幼 児 教 育 学 ・ 保 育 学	子どもと表現	1後	○	1				2	2			
	乳児保育Ⅰ	2後			2			1				
幼 児 教 育 学 ・ 保 育 学	乳児保育Ⅱ	3前			1			1				
	障害児保育	2後			2			1				
幼 児 教 育 学 ・ 保 育 学	社会的養護Ⅱ	4前			1			1				
	野外活動演習	2前			2		2	1				
	小計 (37科目)	—	—	16	29	0	6	5	2	0	0	5

科目 区分		授業科目の名称	配当年度	主要 授業科目	単位数		基幹教員等の配置						基幹教員等以外の教員	
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通 教育 科目	教養科目	生活の科学A	1・2・3・4 前・後			2							1	
		生活の科学B	1・2・3・4 前・後			2							1	
		情報の科学	1・2・3・4 前・後			2							1	
		小計 (47科目)	—	—	0	94	0	1	3	0	0	0	49	
基礎 科目	情報処理科目	情報処理基礎Ⅰ	1前			1							3	
		情報処理基礎Ⅱ	1前			1							3	
		情報処理基礎Ⅲ	1後			1							3	
		情報処理基礎Ⅳ	1後			1							3	
基礎 科目	情報処理演習	情報処理演習A	2前			1							1	
		情報処理演習B	2後			1							1	
		情報処理演習C	3前			1							1	
		情報処理演習D	3後			1							1	
基礎 科目	健康スポーツ科目	健康スポーツA	1・2・3・4 前・後			1		1					1	
		健康スポーツB	1・2・3・4前			1							1	
		健康スポーツC	1・2・3・4後			1				1			1	
		野外活動	1・2・3・4前			2			1				1	
基礎 科目	外国語科目	英語リーディングⅠ	1前			1							3	
		英語リーディングⅡ	1後			1							3	
		英語ライティングⅠ	2前・後			1							1	
		英語ライティングⅡ	2前・後			1							1	
基礎 科目	外国語演習	英語コミュニケーションⅠ	1前			1							4	
		英語コミュニケーションⅡ	1後			1							4	
		英語コミュニケーションⅢ	2前・後			1							4	
		英語コミュニケーションⅣ	2前・後			1							4	
基礎 科目	中国語科目	中国語コミュニケーションⅠ	2前			1							1	
		中国語コミュニケーションⅡ	2後			1							1	
		中国語コミュニケーションⅢ	3前			1							1	
		中国語コミュニケーションⅣ	3後			1							1	
基礎 科目	韓国語科目	韓国語コミュニケーションⅠ	2前			1							1	
		韓国語コミュニケーションⅡ	2後			1							1	
		韓国語コミュニケーションⅢ	3前			1							1	
		韓国語コミュニケーションⅣ	3後			1							1	
基礎 科目	欧米文化語学演習	欧米文化語学演習	1・2・3後			2							1	
		中国文化語学演習	1・2・3・4前			2							1	
		基礎国語演習	1前・後			1							1	
		基礎社会演習	1前・後			1							1	
基礎 科目	基礎数学演習	基礎数学演習	1前・後			1							1	
		基礎理科演習	1後			1							1	
		基礎生物演習	1前			1							1	
		基礎化学演習	1前			1							1	
基礎 科目	基礎物理演習	基礎物理演習	1前			1							1	
		小計 (37科目)	—	—	0	40	0	1	1	1	0	0	22	
		基礎養成科目												
		基礎養成科目												
専門 教育 科目	基本科目・卒業研究	教職論	1前	○	2								1	
		教育原論	1前	○	2			1						
		幼児教育学	1前	○	2			1						
		保育者論	1後	○	2			1						
専門 教育 科目	心理学	幼児教育課程論	2前	○	2			1						
		教育課程論	2前	○	2			1					1	
		保育内容総論Ⅰ	2後	○	2			1						
		教育方法論	2後	○	2			1					1	
専門 教育 科目	卒業研究	教育制度論	3前	○	2								1	
		特別支援教育論	3前	○	1								1	
		発達心理学Ⅰ	1前	○	2			1						
		発達心理学Ⅱ	1後	○	2			1						
専門 教育 科目	卒業研究	教育心理学	2前	○	2			1						
		教育心理学演習	3後			1			1					
		教育相談の理論と方法	3前	○	2								1	
		卒業研究Ⅰ	3後	○	1			7	6	2				
専門 教育 科目	卒業研究	卒業研究Ⅱ	4前	○	1			7	6	2				
		卒業研究Ⅲ	4後	○	1			7	6	2				
		卒業論文	4前	○	2			1						
		小計 (19科目)	—	—	30	3	0	7	6	2	0	0	5	
領域 科目	幼児教育学・保育学	運動遊びの基礎	1前			1		1						
		音楽表現の基礎	1前			1			1	1				
		造形表現の基礎	1前			1			1					
		身体表現の基礎	1前			1				1				
領域 科目	幼児教育学・保育学	演奏表現と子どもの音楽Ⅰ	1前・後			1			1	1				
		演奏表現と子どもの音楽Ⅱ	1前・後			1				1	1			
		子ども家庭福祉論	2前			2			1					
		社会福祉学	2前			2			1					
領域 科目	幼児教育学・保育学	幼児理解の理論と方法	3後	○	1			1					1	
		子育て支援	3後			1		1						
		社会的養護Ⅰ	2後			2			1					
		子どもの保健	2前			2							1	
領域 科目	幼児教育学・保育学	子どもの健康と安全	2前			1							1	
		子どもの食と栄養Ⅰ	3前			1							1	
		子どもの食と栄養Ⅱ	3後			1							1	
		子ども家庭支援論	4前			2			1					
領域 科目	幼児教育学・保育学	保育内容総論Ⅱ	4前			1								
		保育内容 健康Ⅰ	2後	○	1			1						
		保育内容 健康Ⅱ	2後	○	1			1						
		保育内容 人間関係Ⅰ	3前	○	1			1						
領域 科目	幼児教育学・保育学	保育内容 人間関係Ⅱ	3前	○	1			1						
		保育内容 環境Ⅰ	3後	○	1			1					1	
		保育内容 環境Ⅱ	3後	○	1			1					1	
		保育内容 言葉Ⅰ	3前	○	1			1						
領域 科目	幼児教育学・保育学	保育内容 言葉Ⅱ	3前	○	1			1						
		保育内容 表現Ⅰ	2後	○	1				1	2				
		保育内容 表現Ⅱ	2後	○	1									
		子どもと健康	1後	○	1			1						
領域 科目	幼児教育学・保育学	子どもと人間関係	1後	○	1									
		子どもと環境	3前	○	1			1					1	
		子どもと言葉	1後	○	1			1						
		子どもと表現	1後	○	1									
領域 科目	幼児教育学・保育学	乳児保育Ⅰ	2後			2			2	2				
		乳児保育Ⅱ	3前			1								
		障害児保育	2後			2								
		社会的養護Ⅱ	4前			1								
領域 科目	幼児教育学・保育学	野外活動演習	2前			2								
		小計 (37科目)	—	—	16	29	0	6	5	2	0	0	5	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要 授業 科目	単位数		基幹教員等の配置							基 幹 教 員 以 外 の 教 員
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門 教育 科目	赤ちゃん科学	1後	○	2			2	1				1	
	赤ちゃん科学演習	2前			1		1	1	1				
	乳児保育参観	2後			1		1	1					
	幼児教育インターンシップⅠ	1前	○	1			2	1					
	幼児教育インターンシップⅡ	1後			1		2						
	幼児教育実践演習Ⅰ	2前	○	1				1		2			
	幼児教育実践演習Ⅱ	2後			1			1	2				
	子どもと科学	3前			2							1	
	子どもと科学演習	3後			1							1	
	サ ポ ー ト マ タ キ シ ョ ン メ ン ト	保育職キャリアデザイン	2後			1		1	2	2			
サ ポ ー ト マ タ キ シ ョ ン メ ン ト	保育におけるケアと倫理	2前	○	2			1	1					
	リスクマネジメント	3前			1		1						
	子育て支援演習Ⅰ	4前	○	1			1		1				
	子育て支援演習Ⅱ	4後			1		1	1					
	管理職・リーダー育成論	4後			1		1	1					
	保育とICT	3後			1		1						
	特別ニーズ教育論	2前	○	2				1					
	保幼小連携	4後			1		2		1				
	保育カンファレンス	4後			1		1						
	海外教育語学研修事前演習	1・2・3後			1				1				
サ ポ ー ト マ タ キ シ ョ ン メ ン ト	海外教育語学研修	1・2・3後			2				1				
	小計(21科目)	—	—	9	17	0	7	5	2	0	0		
	保育・教職実践演習(幼)	4後			2		3	2					
	教育実習(幼稚園Ⅰ)	2通			2		1						
	教育実習(幼稚園Ⅱ)	3後			2		1						
	教育実習指導Ⅰ	2通			1		1						
	教育実習指導Ⅱ	3後			1		1						
	保育実習Ⅰ	3通			4		1	1					
	保育実習Ⅱ	4前			2		1						
	保育実習Ⅲ	4前			2		1						
教育 実習 ・ 保 育 実 習	保育実習指導Ⅰ	3通			2		1	1					
	保育実習指導Ⅱ	4前			1		1						
	保育実習指導Ⅲ	4前			1			1					
	学校等支援活動	1後			1			1					
	小計(12科目)	—	—	0	21	0	5	4	0	0	0		
	合計(178科目)	—	—	59	209	0	7	6	2	0	0	74	
	学位又は称号		学士(教育学)		学位又は学科の分野		教育学・保育学関係						
	卒業・修了要件及び履修方法							授業期間等					
	特別科目4単位、共通教育科目32単位以上(情報処理科目から4単位以上、外国語科目(英語)から6単位以上)、専門教育科目92単位以上(専門教育科目必修科目55単位を含む)を修得し、128単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:原則 48単位(年間))							1学年の学期区分			2期		
								1学期の授業期間			15週		
1時限の授業の標準時間								90分					

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要 授業 科目	単位数		基幹教員等の配置							基 幹 教 員 以 外 の 教 員	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
専門 教育 科目	赤ちゃん科学	1後	○	2			2	1				1		
	赤ちゃん科学演習	2前			1		1	1	1					
	乳児保育参観	2後			1		1	1						
	幼児教育インターンシップⅠ	1前	○	1			2	1						
	幼児教育インターンシップⅡ	1後			1		2	1						
	幼児教育実践演習Ⅰ	2前	○	1				1	2					
	幼児教育実践演習Ⅱ	2後			1			1	2					
	子どもと科学	3前			2							1		
	子どもと科学演習	3後			1							1		
	保育職キャリアデザイン	2後			1		1	2	2					
	保育におけるケアと倫理	2前	○	2			1	1						
	リスクマネジメント	3前			1		1							
	子育て支援演習Ⅰ	4前	○	1			1		1					
	子育て支援演習Ⅱ	4後			1		1	1						
	管理職・リーダー育成論	4後			1		1	1						
	保育とICT	3後			1			1						
	特別ニーズ教育論	2前	○	2				1						
	保幼小連携	4後			1		2		1					
	保育カンファレンス	4後			1		1			1				
	海外教育語学研修事前演習	1・2・3後			1				1					
海外教育語学研修	1・2・3後			2				1						
小計(21科目)	—	—	9	17	0	7	5	2	0	0	0			
教育 実習 ・ 保 育 実 習	保育・教職実践演習(幼)	4後			2		3	2						
	教育実習(幼稚園Ⅰ)	2通			2		1							
	教育実習(幼稚園Ⅱ)	3後			2		1							
	教育実習指導Ⅰ	2通			1		1							
	教育実習指導Ⅱ	3後			1		1							
	保育実習Ⅰ	3通			4		1	1						
	保育実習Ⅱ	4前			2		1							
	保育実習Ⅲ	4前			2		1							
	保育実習指導Ⅰ	3通			2		1	1						
	保育実習指導Ⅱ	4前			1		1							
	保育実習指導Ⅲ	4前			1			1						
	学校等支援活動	1後			1			1						
	小計(12科目)	—	—	0	21	0	5	4	0	0	0	0		
合計(182科目)		—	—	59	213	0	7	6	2	0	0	73		
学位又は称号		学士(教育学)		学位又は学科の分野		教育学・保育学関係								
卒業・修了要件及び履修方法													授業期間等	
特別科目4単位、共通教育科目32単位以上(情報処理科目から4単位以上、 外国語科目から6単位以上(注) 、専門教育科目92単位以上(専門教育科目必修科目55単位を含む)を修得し、128単位以上修得すること。 注)英語リーディングⅠ・Ⅱ、英語ライティングⅠ・Ⅱ、英語コミュニケーションⅠ・Ⅱの中から4単位以上修得し、外国語科目全体(欧米文化語学演習、中国文化語学演習を除く)で合計6単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:原則 48単位(年間))							1学年の学期区分				2期			
							1学期の授業期間				15週			
							1時限の授業の標準時間				90分			

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
- ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。

その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
なお、設置認可時又は届出時、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼担」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)数、認可時又は届出時の「兼任・兼担」数との比較において変更となっている箇所を**赤字としてください。**

(専任教員から基幹教員に変更したことをもって赤字とする必要はありません。)

- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。

- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。

- ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。

(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には【※】、「臨地実務実習」による授業科目には【臨】、「連携実務演習」による授業科目には【連】を授業科目の名称の右側に記入してください。

- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。

その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。

新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。

(例: 記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度(新)】→【令和6年度(新)】→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度(旧)】→【令和6年度(旧)】

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・「中国語コミュニケーションⅠ」の配当年次を「1前」から「2前」に変更。
- ・「中国語コミュニケーションⅡ」の配当年次を「1後」から「2後」に変更。
- ・「中国語コミュニケーションⅢ」の配当年次を「2前」から「3前」に変更。
- ・「中国語コミュニケーションⅣ」の配当年次を「2前」から「3前」に変更。
- ・「韓国語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」を追加。2026年度より開講とし、授業担当教員は募集中。
- ・卒業・修了要件及び履修方法の外国語科目の卒業要件を変更。（「外国語科目（英語）から外国語科目から6単位以上」を「外国語科目から6単位以上（英語リーディングⅠ・Ⅱ、英語ライティングⅠ・Ⅱ、英語コミュニケーションⅠ・Ⅱの中から4単位以上修得し、外国語科目全体（欧米文化語学演習、中国文化語学演習を除く）で合計6単位以上修得すること。」に変更）
- ・担当教員退職の理由により、「からだの科学B」「国際協力A」の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」を「1」から「0」に変更。
- ・授業科目の名称変更の理由により、「北米文化語学演習」を「欧米文化語学演習」に変更。

- (注)・ 2 (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
- 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
43 科目	135 科目	0 科目	178 科目	43 科目 [0]	139 科目 [+4]	0 科目 [0]	182 科目 [+4]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	からだの科学B	2	1・2・3・4 前・後	一般	選択	授業担当者の退職のため、2025年度は未開講。代替措置は無。
2	国際協力A	2	1・2・3・4 前・後	一般	選択	授業担当者の退職のため、2025年度は未開講。代替措置は無。
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「からだの科学B」「国際協力A」未開講について

○大学の所見

次の理由から未開講による影響は少ないと考える。

- ①該当の科目は、共通教育科目-教養科目（47科目）のうちの1科目で、選択科目である。教養科目は47科目のうち、22単位程度修得すれば卒業要件のうちの共通教育科目の単位数として十分である。
- ②教養科目は幅広い分野の多くの授業を開講しているため、学生は、未開講科目の代わりの科目を選択することができる。
- ③2026年度以降は該当科目を開講する予定である。配当年次は1年次～4年次であるため、希望する学生は来年度以降履修することができる。

○学生への周知方法

前期ガイダンス時に学生に配付する「履修登録ガイド」に「教養科目分野別一覧」を掲載しており、学生は開講している科目とともに開講していない科目も確認できる。

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{2}{178} = \boxed{1.12} \%$$

(注)・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	67,590 m ²	0 m ²	0 m ²	67,590 m ²				
	そ の 他	71,562 71,564 m ²	0 m ²	0 m ²	71,562 71,564 m ²				
	合 計	139,152 139,154 m ²	0 m ²	0 m ²	139,152 139,154 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		92,741 m ² (77,355 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	92,741 m ² (77,355 m ²)				
(3)教室・教員研究室		教 室	260 室	教員研究室	260 室	大学全体			
(4) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点	大学全体では、図書 344,992冊（うち外国 書59,303冊）、学術雑 誌4,859種（うち外国 雑誌2,098種）	
		教育学部 幼児教育学科	28,700 [3,300] (27,875 [3,194])	100 [0] (8 [0])	70 [8] (63 [9])	9 [4] (14 [6])	()		()
	計	28,700 [3,300] (27,875 [3,194])	100 [0] (8 [0])	70 [8] (63 [9])	9 [4] (14 [6])	()	()		
	(5)スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂	厚生補導施設			大学全体 用途変更（7）
		5,937 2,794 m ²		3,111 m ²	4,463 6,016 m ²				
(6) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の 見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	460千円	460千円	図書購入費	4,173千円	4,870千円	4,870千円	
		共 同 研 究 費 等	0千円	0千円	設備購入費	11,721千円	9,740千円	9,740千円	
	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,229千円	1,129千円	1,129千円	1,129千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）又は（その1の3）に準じて作成してください。

（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び

「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。）

・「（4）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（6）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・校舎等建物の計画の変更（校舎の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・高等専門学校については「（3）教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。

・国立大学については「（6）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	安 田 女 子 大 学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
文学部	4	190	3年次4	888	-	0.81	-	-						
日本文学科	4	90	3年次1	362	学士(文学)	0.96	-	-	昭和41	広島県広島市安佐南区安東六丁目13番1号				
書道学科	4	30	3年次1	122	学士(文学)	0.81	-	-	平成23	同上				
英語英米文学科	4	70	3年次2	404	学士(文学)	0.67	-	-	昭和41	同上	令和7年度入学定員 (-40)			
教育学部	4	190	3年次3	646	-	0.98	-	-						
児童教育学科	4	60	3年次1	516	学士(教育学)	0.99	-	-	平成24	同上	令和4年度編入学定員 (-7) 令和7年度入学定員 (-90)			
幼児教育学科	4	130	3年次2	130	学士(教育学)	0.97	-	令和7	令和7	同上	令和7年開設 (+130)			
心理学部	4	150	3年次2	604	-	0.91	-							
現代心理学科	4	90	3年次1	362	学士(心理学)	0.96	-	令和4	平成24	同上	令和4年度入学定員 (+30)			
ビジネス学科	4	60	3年次1	242	学士(心理学)	0.83	-	-	平成30	同上				
現代ビジネス学部	4	220	3年次3	946	-	0.92	-	-						
現代ビジネス学科	4	80	3年次1	352	学士(現代ビジネス)	1.10	-	-	平成15	同上	令和2年度編入学定員 (-1) 令和7年度入学定員 (-10)			
国際観光ビジネス学科	4	80	3年次1	352	学士(現代ビジネス)	0.88	-	-	平成27	同上	令和元年度入学定員 (+30) 令和7年度入学定員 (-10)			
公共経営学科	4	60	3年次1	242	学士(現代ビジネス)	0.71	-	-	令和2	同上	令和2年度編入学定員 (+1)			
家政学部	4	315	3年次2	1384	-	0.97	-	-						
生活デザイン学科	4	120	3年次2	604	学士(家政学)	0.94	-	令和4	平成16	同上	令和4年度入学定員 (+30) 令和7年度入学定員 (-40)			
管理栄養学科	4	120	-	480	学士(家政学)	0.93	-	-	平成16	同上				
造形デザイン学科	4	75	-	300	学士(家政学)	1.10	-	-	平成28	同上	令和4年度入学定員 (-5)			
薬学部	6	100	3・4年次4	614	-	0.99	-	-						
薬学科	6	100	3年次2 4年次2	614	学士(薬学)	0.99	-	-	平成19	同上	令和2年度入学定員 (-20) 令和4年度3年次編入学定員 (+2) 4年次編入学定員 (+2)			
看護学部	4	120	-	480	-	1.03	-	-						
看護学科	4	120	-	480	学士(看護学)	1.03	-	-	平成26	同上				
理工学部	4	180	-	180	-	1.12	-							
生物科学科	4	60	-	60	学士(生物科学)	1.16	-	令和7	令和7	同上	令和7年開設 (+60)			
情報科学科	4	60	-	60	学士(情報科学)	1.13	-	令和7	令和7	同上	令和7年開設 (+60)			
建築学科	4	60	-	60	学士(建築学)	1.06	-	令和7	令和7	同上	令和7年開設 (+60)			
大学全体	-	1465	18	5742	-	-	-	-	-	-				

-
- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部/学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
 - ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和6年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(幼児教育学科)	開設時に基幹教員(11名)のうち定年規程を超える者は2名であり、その割合は18%であった。(7)	現時点の予定では、完成年度時の定年を超える者は6名であるため、引き続き、定年規程の趣旨を踏まえつつ、教育研究の持続性を視野に入れた教員組織となるよう、後任人事等にてできるだけ若い教員の補充に配慮したい。(7)
	文学部英語英米文学科の収容定員未充足の是正に努めること。(英語英米文学科)	志願者のニーズを踏まえ、令和7年度の入学定員を110名から70名に削減した。令和7年度の収容定員充足率は0.67、入学定員充足率は0.91である(令和6年度収容定員充足率0.66)。(7)	引き続き、教育の内容の充実等を通じ、入学者の確保に努めるとともに、収容定員充足率の改善に努める。(7)

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6) (7)」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<教育学部 幼児教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成16年度「安田女子大学・安田女子短期大学FD委員会」を設置した。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和6年度1回開催（開催日：令和6年4月25日、参加者：26名）

c 委員会の審議事項等

- ・授業方法の改善について（授業公開、授業アンケートの結果等）
- ・学生調査について（学生実態調査とその分析等）
- ・FD・SD研修会について
- ・3つのポリシーの点検・検証 等

② 実施状況

a 実施内容

- ・教員相互の授業参観
- ・新任教員のための研修会 等

b 実施方法

- ・FD・SD研修会の開催
- ・オリエンテーションの実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・全学的なFD・SD研修会を開催（令和6年度：合計5回）
 - 第1回 新任教員対象研修会（開催日：令和6年4月3日、参加者：16名、対象：新任教員・助手）
 - 第2回 新任教員ミーティング（開催日：令和6年6月27日、参加者：26名、対象：新任教員・助手他）
 - 第3回 障害者差別解消法への全学的な理解
（開催日：令和6年7月4日、参加者：214名、対象：全教員・助手）
 - 第4回 研究費の適正な執行について～研究費執行に関する研究倫理・コンプライアンス教育～
（開催日：令和6年7月11日、参加者：208名、対象：全教員）
 - 第5回 セクハラ・パワハラをめぐる法律問題
（開催日：令和7年1月16日、参加者：212名、対象：全教員・助手）
- ・各学部学科（既設）において、FD・SD研修会を開催（令和6年度：合計18回）
- ・学期毎に学生への授業アンケートを実施
結果及び学科長による総評（フィードバック）は学内に公開（掲示）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

大学全体として、自己点検・評価委員会を中心にFD委員会と連携して、教員の資質向上を促進。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期および後期の授業終了時期（11～15回目の授業時）に原則として大学・短大に開講する全科目を対象にWEBによるアンケート調査を実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

常勤教員は、翌学期開始前に担当科目の集計結果をWEBから閲覧。
非常勤講師には、翌学期開始前に担当科目の結果を配付。
学生には、各学科の集計結果に学科長のコメントを付し、翌学期に学内に掲示。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

教育学部幼児教育学科は、人間形成の基礎が培われる乳児期・幼児期のそれぞれの発達特性に応じた関わり方について理論と実践の往還的な学びにより専門性を高め、子どもたちの豊かな人生を創造し、幼児教育・保育分野の未来をけん引する保育者等の専門的職業人を養成することを目的としている。

本目的の達成及び3つのポリシーに則った教育の展開のため、以下の取り組みを行った。

・志願者・入学者の確保

令和6年度は、アドミッションポリシーに基づいた人材の確保に向け、積極的な広報活動及び多様な入学試験を実施した。その結果、入学定員130名に対し入学者127名を獲得した。

・教育活動

1年次開講の専門教育科目については令和7年5月現在、全て計画通りに開講している。

今後は教育・研究水準の更なる向上を図り、設置の趣旨・目的の達成に向けて大学を挙げて取り組む。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和6年4月2日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・令和5年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の認証評価を受審し、「適合」との評価を受けた。
第4タームの認証評価は、規程に則り令和12年度に受審予定。

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [☐ 有 ・ ☐ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [☐ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☐ 公表後2～3ヶ月以内 ・ ☐ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☐ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。